



Contents —【目次】

- 02 第78回磐梯まつり
- 04 猪苗代町から始まる
新たな芸術祭
- 06 まちのわだい
- 08 ホットニュース／地域おこし協
力隊通信
- 09 スクールトピックス
- 10 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員
コーナー

【今月の表紙】



会津藩祖・保科正之公を始めとする会津藩歴代藩主をまつる土津神社では、この時期だけの特別な景色を楽しむことができます。白い鳥居をくぐると、風鈴のさわやかな音色が響く「風鈴参道」が広がります。涼やかな音色に包まれながら、夏詣でに出かけてみませんか。

【撮影日】 7月31日
【撮影場所】 土津神社

公式SNS

LINEで情報発信をしています。ぜひご登録ください。



第78回

磐梯まつり

～火に託す二つの心 「祈り」と「感謝」～

第78回磐梯まつりは7月18、19の両日、亀ヶ城公園をメイン会場に行われました。

猪苗代の夏の風物詩ともいえるこのまつりは、明治21年7月15日の磐梯山噴火で殉難した人々を供養することを目的として始まり、五穀豊穡や町民の安寧を祈願する「火の祭り」として継承・発展してきました。

初日は、太鼓の演奏や県警音楽隊による音楽パレードなどが行われ、まつりが華やかに開幕しました。その後、地域ごとの山車3台と猪苗代中総合文化部の生徒らが創作したみこしがメイン会場を練り歩きました。磐梯神社では、御神火授与祭が執り行われ、「たいまつランナー」が、御神火をメイン会場まで届けました。メイン会場で御旅所祭が行われた後、たいまつ行列がスタート。小天狗や巫女に扮した高校生、稚児らが参加し、伝統の行列を彩りました。

2日目は、小学生らによる鼓笛演奏や、プロダンスチームSEGASAMMYLUXによる華麗なダンスなど、多彩な催しが行われました。

二日間を通して、大勢の町民らが参加し、会場は大いに盛り上がりました。最後は会津磐梯山総おどりで締めくくられ、盛大なフィナーレを迎えました。



1_たいまつ行列の様子 2_子どもたちも元気いっぱいに参加した会津磐梯山総おどり 3_ステージイベントで勇壮な演奏を披露する川桁謡真鼓楽会 4_SEGA SAMMY LUXが圧巻のパフォーマンスで会場を盛り上げた。中央のKENTAROは本町出身 5_音楽パレードで練習の成果を披露する二小(5)と猪小(8)の児童 6_猪苗代T&Fの16人がたいまつランナーを務めた 7、10_山車とみこしの競演で山車がすれ違う、祭りならではの迫力ある瞬間(7)。子どもから大人までが山車引きに参加した。(10)は猪中生徒 9_磐梯山噴火殉難者供養祭(7月15日)

